

環境法令順守で研修

環境・安全衛生
ガバナンス機構 6月には認定も

NPO法人の国際環境・安全衛生ガバナンス機構(IEHSG。東京都千代田区)は新年度から、環境コンプライアンス(法令順守)に関する

研修事業と認定事業を開始する。来月二十三日に実施予定の体験セミナーを皮切りに、企業の管理監督者や環境関連の実務担当者向けに独自開発した「現場重視」型の研修事業を展開。六月には「環境コンプライアンス監査員」の養成・認定事業をスタートする計画。相次ぐ企業不祥事やIS

O1400も認証取得の伸び悩みなどを背景に、現場においてより実効性のある環境マネジメントシステムの運用を支援する。

米国の環境安全衛生監査員協会(BEAC。米フロリダ州)と日本で初めて業務提携し、企業の管理監督者や環境実務担当者向けにストーリー型ケーススタディ方式の研修プログラムを開発した。

法投棄や倉庫の解体・新築といった問題解決を仮想体験することで、法令の要求事項や順守ポイントを学ぶことができる。研修は東京など主要都市での集合研修と企業訪問によるオンサイト研修を用意。

第一弾となる来月二十三日は、東京都千代田区のパシフィックセンチュリープレイスで開催する予定。定員五〇人。詳細及び申し込みはIEHSGホームページ(<http://www.iehsg.org/>)参照。